

再就職活動をされた女性の  
意識と就労状況に関するアンケート調査  
報告書

平成 27 年 9 月  
三重県

## 目 次

1. 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査について.....	1
2. 調査結果.....	2
1. 回答者（本人）について.....	2
2. 利用した三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」について.....	4
3. 再就職をされた方の就労状況について.....	7
4. 過去の仕事との比較について.....	15
5. 仕事と家庭の両立について.....	17
6. 県の事業を利用した後、再就職をされていない方の意識について.....	18
7. 女性の再就職に関する意識について.....	19
8. 労働条件・行政の支援策等について.....	20
3. 資料編.....	22
アンケート調査票.....	22

### ※本書での表記について

- ・図表中のNは設問ごとのサンプル数を表す（クロス集計の場合は、その集計の有効サンプルであり、単純集計のサンプル数と異なる場合がある）
- ・数値（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、集計結果の割合合計が100%にならないことがある。
- ・複数回答の数値（％）は、選択肢ごとの回答数を有効サンプル数（N）で割った数値であるため、全ての割合を合計すると、通常は100を超える。

# 1. 調査の概要

## 1. 調査目的

女性の社会進出が進んではいるものの、依然として、出産・育児などでいったん退職すると同じ条件での再就職が難しい環境である。また、妊娠・出産・子育てなどのライフステージにあわせたキャリアアップ・スキルアップを希望する女性が多い一方で、“将来に向けて何をしたらよいかわからない”などと悩む女性が多いのも実情である。

三重県では、これまで女性の再就職に向けた就労支援事業を実施してきたが、これらの事業の検証も含めて、女性の再就職に関する課題を把握するため、アンケート調査を実施した。

## 2. 調査について

### 2-1. 調査対象

平成 24～26 年度に三重県が実施した以下の「女性の再就職に関する就労支援事業」を利用された県民女性から、事業別に、居住地域を考慮して無作為抽出した。

事業の種類	内容	実施年度
① 再就職に向けた相談窓口	キャリアカウンセラーによるカウンセリング・就職に向けた情報提供など	平成 24～26 年度
② 再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ	スキルアップのための研修と企業での就業体験	平成 26 年度
③ 女性の再就職に向けた相談対応と企業へのマッチング	相談対応、および求職サイト・セミナー・面談イベントによる各種マッチング等	平成 26 年度

### 2-2. 調査期間

平成 27 年 8～9 月

### 2-3. 配布・回収方法

郵送にてアンケート調査票を送付し、郵送にて回収を行った。

### 2-4. 配布数

200 人

内訳（利用した事業別）	①再就職に向けた相談窓口	143 人
	②再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ	32 人
	③女性の再就職に向けた相談対応と企業へのマッチング	25 人

### 2-5. 回収数

97 人（回収率 48.5%）

### 2-6. 有効回答数

93 人（有効回答率 46.5%）

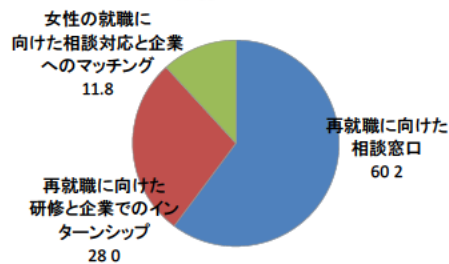
## 2. 調査結果

### 1. 回答者（本人）について

#### 1-1. 利用した三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」

「再就職に向けた相談窓口（平成 24～26 年度）」が 60.2%（56 人）、「再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ（平成 26 年度）」が 28.0%（26 人）、「女性の就職に向けた相談対応と企業へのマッチング」が 11.8%（11 人）となっている。

利用した三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」  
N=93

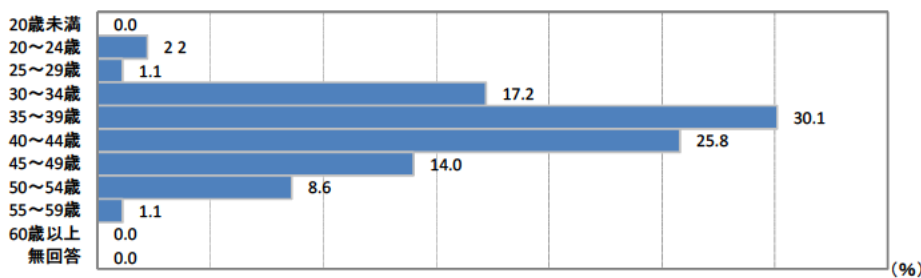


(%)

#### 1-2. 年齢（満年齢） ※数値で回答を求めたものを集計

30代後半から、40代前半の割合が高くなっている。

年齢  
N=93

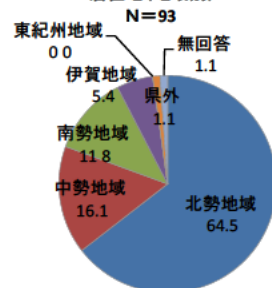


(%)

#### 1-3. 居住地（地域別） ※市町村名で回答を求めたものを集計

「北勢地域」（64.5%）が最も高く、「中勢地域」（16.1%）、「南勢地域」（11.8%）が続く。

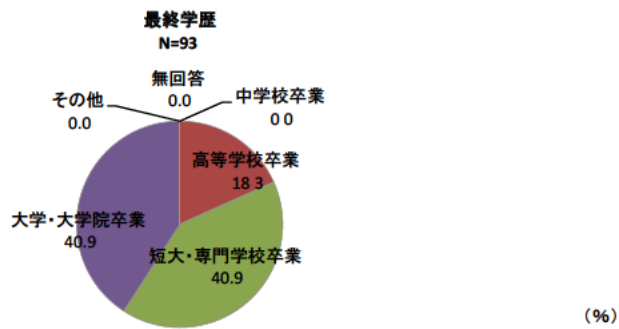
居住地（地域別）  
N=93



(%)

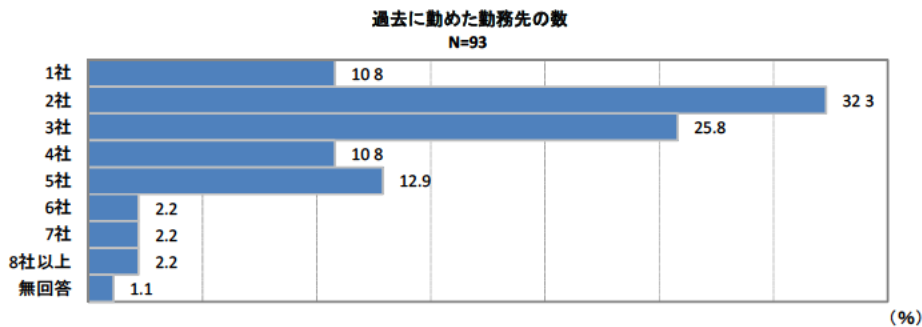
#### 1-4. 最終学歴

「大学・大学院卒業」と「短大・専門学校卒業」がともに40.9%で最も高くなっている。



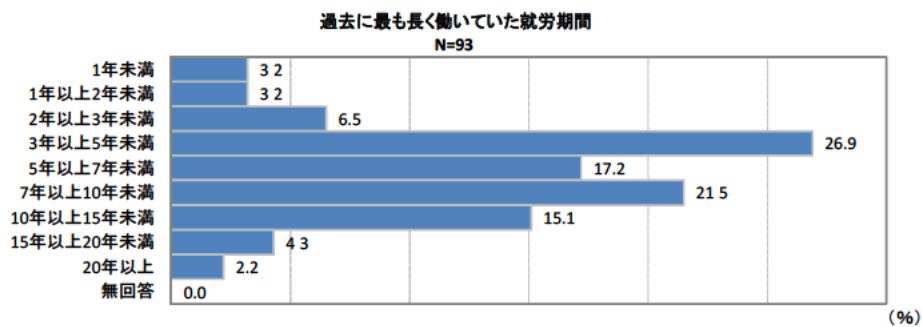
#### 1-5. 過去に勤めた勤務先の数 ※数値で回答を求めたものを集計

「2社」(32.3%)が最も高くなっている。一方で、5社以上との回答が約2割(19.5%)みられる。



#### 1-6. 過去に最も長く働いていた就労期間 ※数値で回答を求めたものを集計

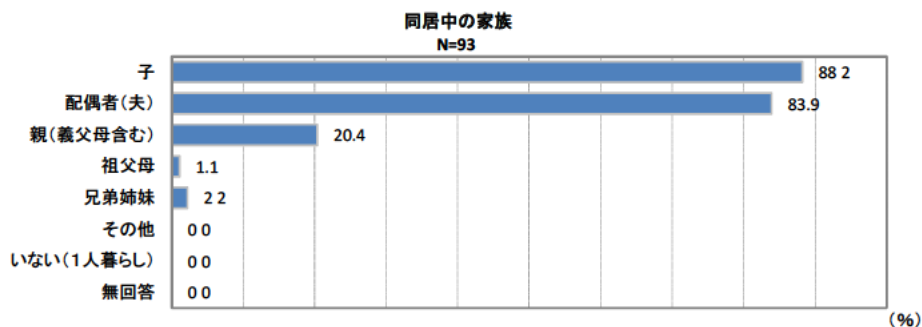
3年から7年未満で4割強(44.1%)を占めている。



#### 1-7. 家族 ※複数回答。単身赴任中の配偶者は別居として扱った

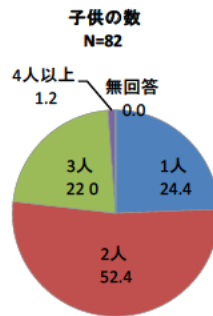
##### ①同居中の家族

「親(義父母含む)」は、約2割(20.4%)となっている。



## ②子供の数

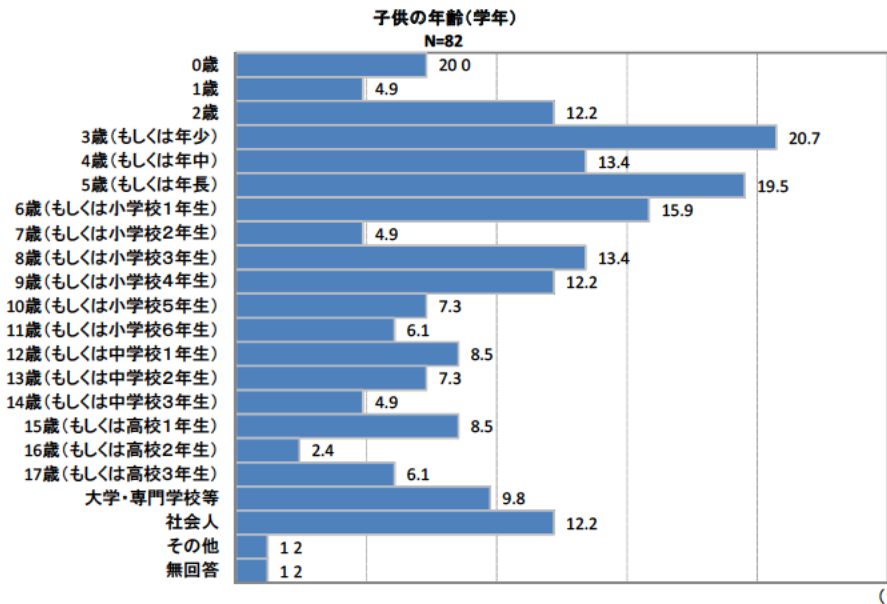
同居中の家族で「子」と回答した方に、子供の数を尋ねた結果では、「2人」(52.4%)が最も高く、「1人」(24.4%)、「3人」(22.0%)となっている。



(%)

## ③子供の年齢 ※複数回答。自由記述で回答を求めた結果の集計

同居の家族で「子」と回答した方に、子供の年齢や学年を尋ねた結果では、3歳から6歳の割合が高くなっているが、幅広い年齢等の回答がみられる。



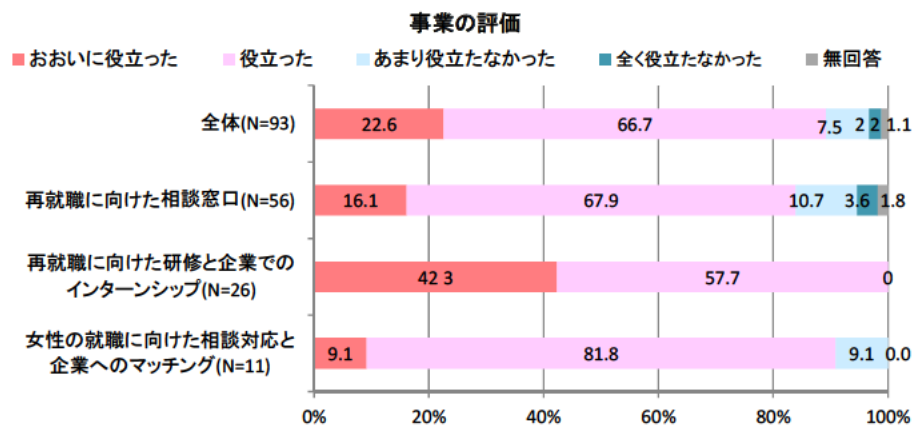
(%)

## 2. 利用した三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」について

### 2-1. 利用した事業の評価

#### ①事業の評価

全体的に、プラスの評価(「おおいに役立った」+「役立った」)の割合が高くなっている。「再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ」では、マイナスの評価はみられなかった。

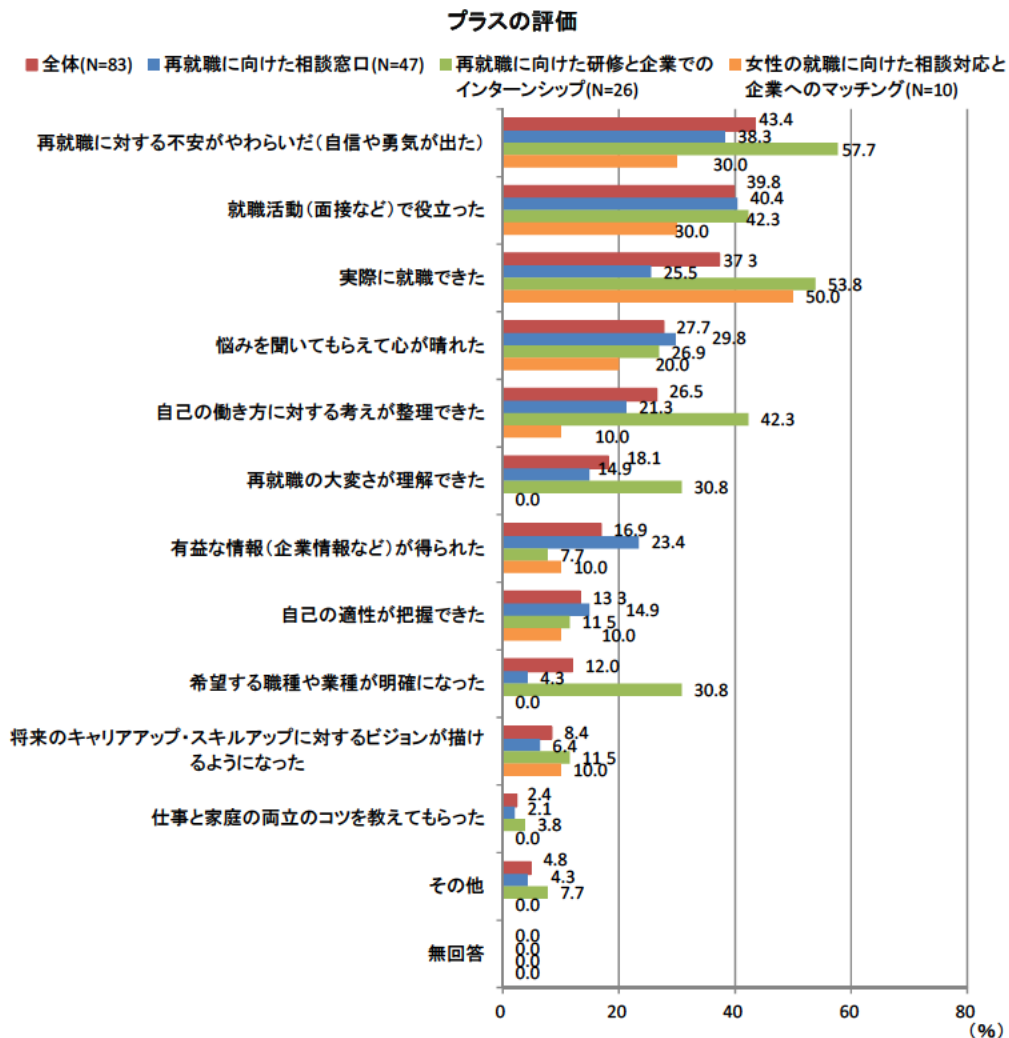


②プラスの評価の理由 ※複数回答。①でプラスの回答をした方へのみ尋ねた結果

「再就職に対する不安がやわらいだ」(43.4%)が最も高く、「就職活動(面接など)で役立った」(39.8%)、「実際に就職できた」(37.3%)が続く。「その他」では、パソコンスキルに関する回答が複数みられた。事業別にみると、「再就職に向けた相談窓口」では、「就職活動(面接など)で役立った」(40.4%)が最も高く、「再就職に対する不安がやわらいだ」(38.3%)、「悩みを聞いてもらえて心が晴れた」(29.8%)が続き、心理的な項目が2位、3位となっている。

「再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ」では、「再就職に対する不安がやわらいだ」(57.7%)が最も高く、「実際に就職できた」(53.8%)、「就職活動(面接など)で役立った」、「自己の働き方に対する考えが整理できた」(ともに42.3%)が続き、半数超が実際に就職できたことを評価している。

「女性の就職に向けた相談対応と企業へのマッチング」では、「実際に就職できた」(50.0%)が最も高く、「再就職に対する不安がやわらいだ」、「就職活動(面接など)で役立った」(ともに30.0%)が続き、半数が実際に就職できたことを評価している。



③ マイナスの評価の理由、その他事業に対する意見 ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

1) マイナスの評価の理由

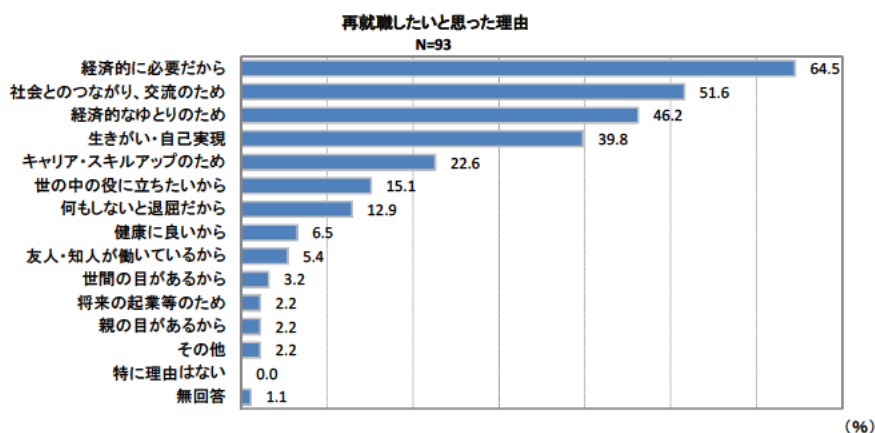
- ・再就職をするにあたっての不安や問題に対して具体的な解決策が提示されなかった。
- ・やりたい仕事ははっきりしていたため、漠然としたアドバイスのみで期待通りでなかった。また、小さい子供の育児をしながら働くことができる職場を探していたのに、サポートが不十分だった。
- ・事務的に仕事を紹介するような対応だったため、自分で民間のサービスを使用して再就職をした。主婦のニーズにあった仕事は、民間の方が柔軟に対応してもらえるイメージがある。
- ・カウンセリングの時間をもう少し長くして欲しいと思った。自己分析は自己の考えを整理するのに役立つ。
- ・インターンシップ先が予め用意されていたわけでもなく、結果的に自分で探した会社に面接に行き採用されることとなった。面接の参考にはなったが、期待していたものとは違った。
- ・インターンシップの受入先のイメージが良くなかったが、続ける必要があり、ストレスを感じた。
- ・参加企業があまり多くなく、参加者も少なかった。
- ・相談しても、希望する就職先がなかった。
- ・実際に再就職できたのはよかったが、まだまだ子育て中でも働きやすい職場が少ないと感じた。

2) 事業に対する意見

- ・希望どおりスキルアップをして、再就職をすることができた。
- ・子育て中は孤独になりがちで、話を聴いてもらえて良かった。不安な気持ちを受けとめてもらった。
- ・カウンセリングで、仕事のブランクが長いことについての不安を相談できた。
- ・企業の情報を得られたという面で効果があった。
- ・一般のハローワークとは別の女性向けの相談窓口は、待ち時間も少なく、丁寧で利用しやすかった。
- ・職業訓練は終日のものが多いため、主婦が利用しやすい午前だけのコースや毎日通わなくてもよいコースも作ってほしい。
- ・年齢が高くても問題がない会社を抽出していただければ良いと思う。
- ・たまたま幼稚園でチラシをみて知ることができたが、多くの人が利用できるように周知すべき。

2-2. 再就職したいと思った理由 ※複数回答

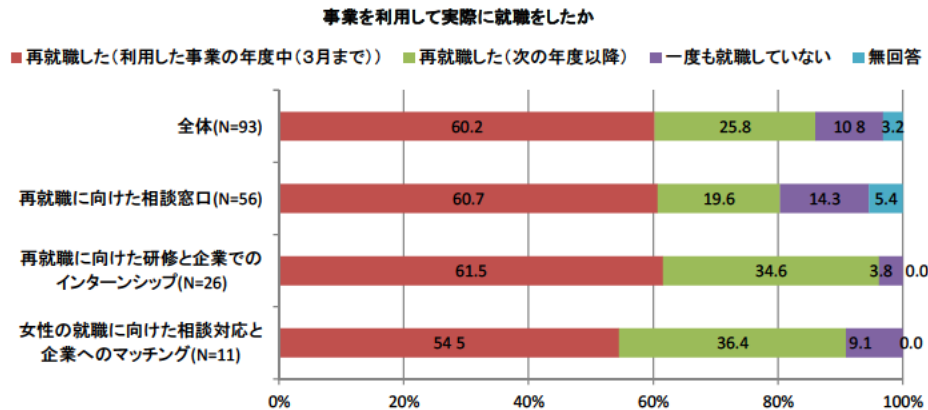
「経済的に必要だから」(64.5%) が最も高くなっている。次いで、「社会とのつながり、交流のため」(51.6%) が約半数を占め、「生きがい・自己実現」(39.8%) が約4割となっており、収入を得ること以外の目的を持って再就職を希望したとする回答が目立つ。





### 2-3. 実際に就職をしたか

事業の次年度以降も含めると大半の方が再就職をしている。事業別にみると、「再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ」が最も再就職した割合が高くなっている。

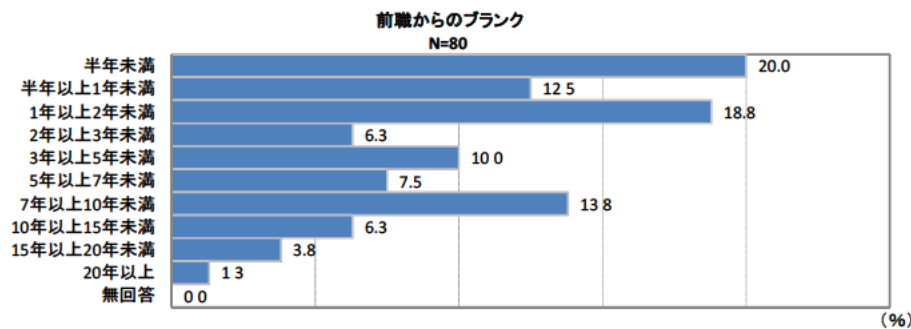


## 3. 再就職をされた方の就労状況について

※県の事業を利用した後、再就職をした人にも尋ねた結果

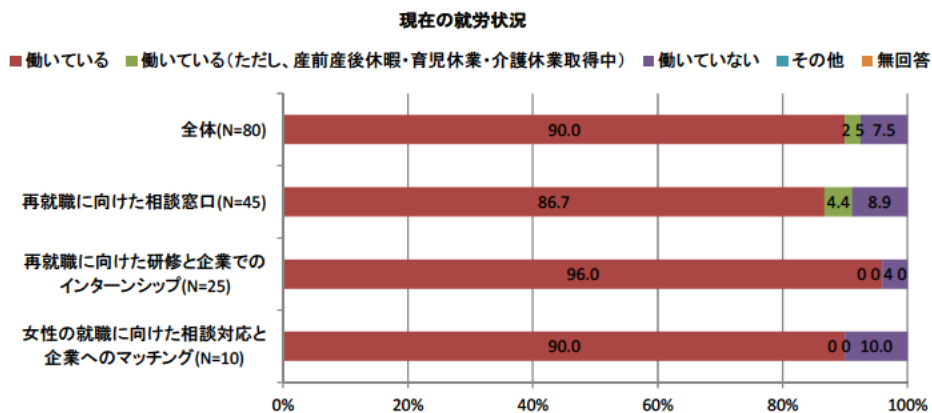
### 3-1. 前職からのブランク ※数値で回答を求めたものを集計

1年未満との回答が3割強(32.5%)、2年未満も含めると半数強(51.3%)となり、短い期間に回答が集まっている。



### 3-2. 現在の就労状況

各事業とも9割以上が、「働いている」もしくは「働いている(ただし、産前産後休暇・育児休業・介護休業取得中)」となっている。

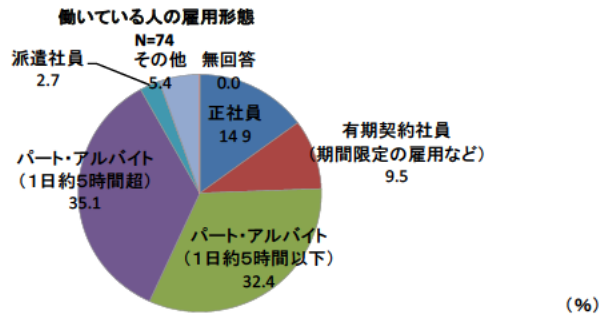


### 3-3. 働いている人の仕事の内容・就労についての考え

※県の事業を利用した後、再就職をして、現在働いている方にのみ尋ねた結果

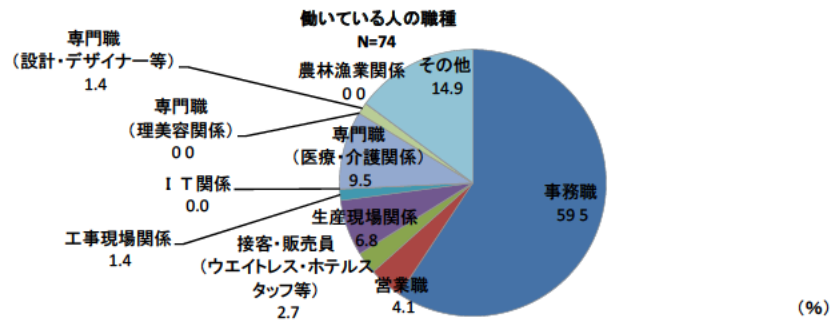
#### ①雇用形態

パート・アルバイトが、「約5時間以下」(32.4%)、「約5時間超」(35.1%)を合わせて、約7割(67.5%)となっている。正社員は、14.9%となっている。



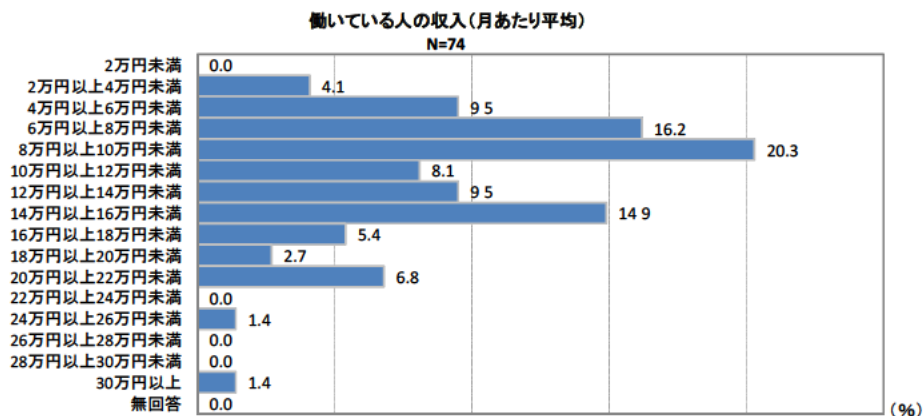
#### ②職種

「事務職」(59.5%)が約6割で最も高く、次いで「専門職(医療・介護関係)」(9.5%)が高くなっている。



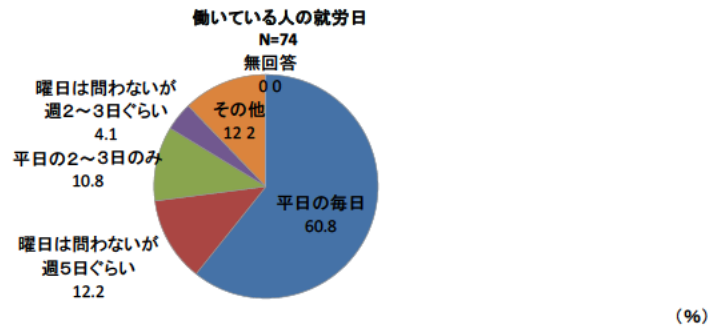
#### ③収入(月あたり平均) ※数値で回答を求めたものを集計

「8万円以上10万円未満」(20.3%)が最も高く、次いで「6万円以上8万円未満」(16.2%)が高くなっている。これらが高くなっているのは、年収に換算して共働き時に税金の控除対象となる103万円以下や社会保険料が免除される130万円未満の仕事を選択している回答者が相当数いるためとみられる。



④就労日

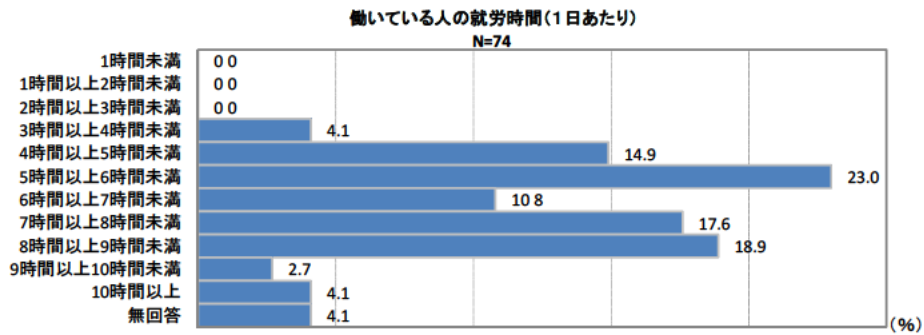
「平日の毎日」(60.8%)が最も高くなっている。「その他」は、週3～4日程度の回答が多くを占めている。



⑤就労時間・就労日数

1) 1日あたりの就労時間 ※数値で回答を求めたものを集計

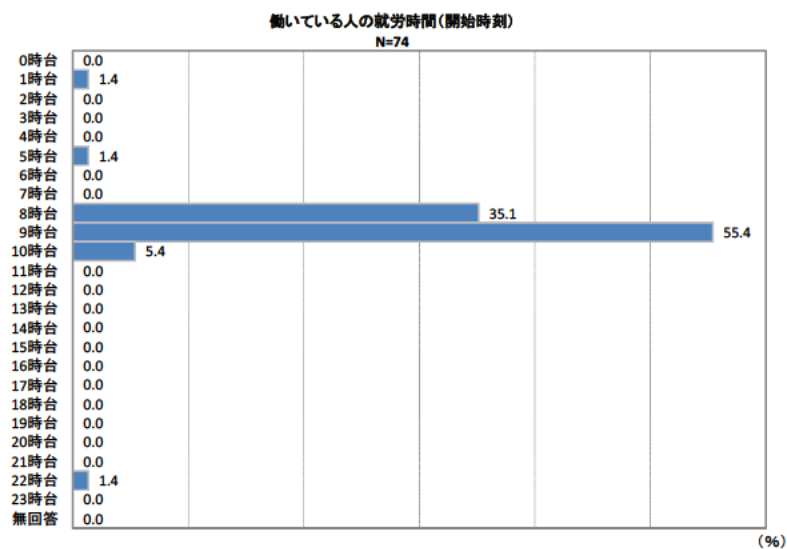
回答は分散しており、フルタイム勤務かどうかによって差があるものとみられる。



2) 就労開始時刻・終了時刻

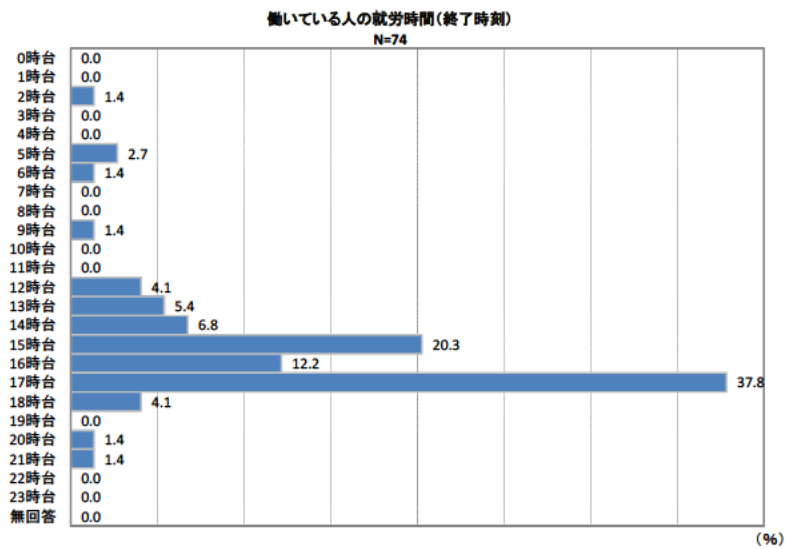
i) 開始時刻 ※数値で回答を求めたものを集計

8時台から10時台の回答が95.9%となっている。



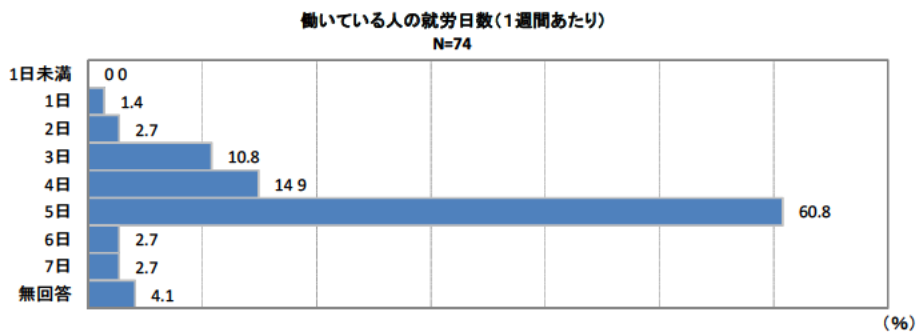
ii) 終了時刻 ※数値で回答を求めたものを集計

「17時台」(37.8%)が最も高く、次いで「15時台」(20.3%)が高くなっている。



3) 1週間あたりの就労日数 ※数値で回答を求めたものを集計

「5日」(60.8%)が最も高く、週休2日での就労が多くを占めている。

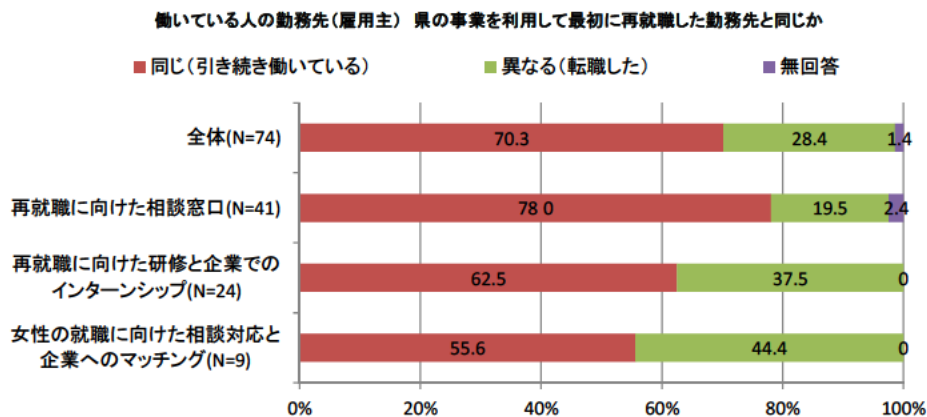


⑥勤務先(雇用主)

1) 県の事業を利用して最初に再就職した勤務先と同じか

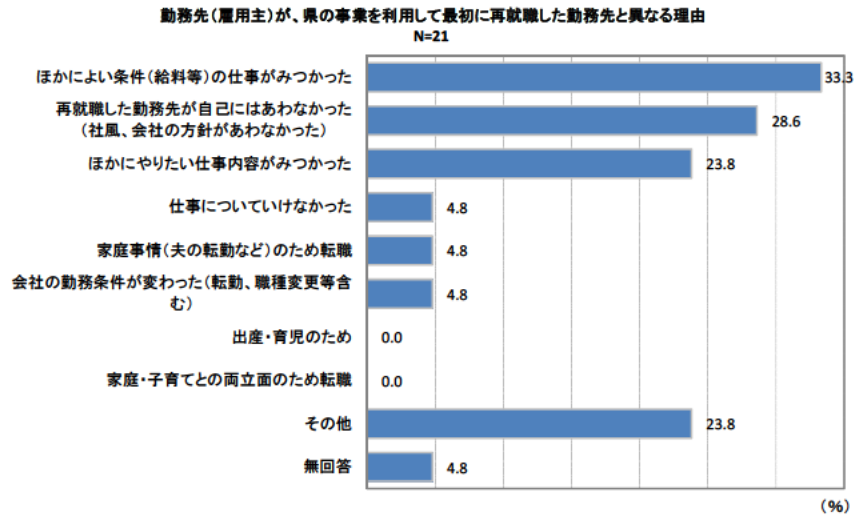
「同じ(引き続き働いている)」が約7割(70.3%)、「異なる(転職した)」が約3割(28.4%)となっている。

事業別にみると、「女性の就職に向けた相談対応と企業へのマッチング」が、「異なる(転職した)」の割合が高くなっている。



2) 異なる(転職した)理由 ※1)で「異なる(転職した)」と回答した方のみ尋ねた結果。複数回答

「ほかにより条件(給与等)の仕事が見つかった」(33.3%)や、「ほかによりやりたい仕事内容が見つかった」(23.8%)といった積極的な理由のほか、「再就職した勤務先が自己にはあわなかった」(28.6%)と社風などを理由とする回答が目立った。「仕事についていけなかった」(4.8%)は低くなっている。「その他」では、当初から短期の契約であったことや体調不良に関する回答が複数みられた。

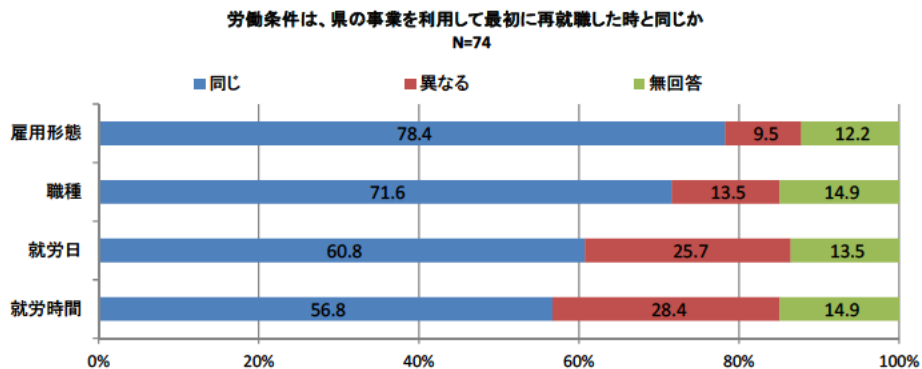


⑦労働条件の変化

1) 県の事業を利用して最初に再就職したときと同じか

i 雇用形態(正社員、パート・アルバイトなど)、ii 職種(事務職・営業職など)、iii 就労日、iv 就労時間のそれぞれについて、県の事業を利用して最初に再就職したときと同じかについて尋ねた結果では、iii 就労日やiv 就労時間が、i 雇用形態やii 職種よりも「異なる」の割合が高くなっている。

下記2)の理由等から推察すると、勤務先の都合のほか、ライフスタイルの変化などに応じて就労日や就労時間を変更(転職を含む)している結果と伺える。



2) 異なる理由・きっかけ ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

- ・パートから正社員に変更して頂いた。
- ・最初は子供が小さかったため、事務職で雇って頂いていたが、専門職に職種を変更した。
- ・資格を取得することができ、できる仕事が増えたため。子供を幼稚園から保育園に転園することができたため。
- ・より多くの収入を得るため変更した。
- ・勤務先の都合により就業時間が変わった。
- ・子供が保育園に入園したので長く働けるようになり、勤務時間を変更した。

- ・家庭事情により、勤務先に相談して変更していただいた。
- ・出産のため就労時間を短くした。

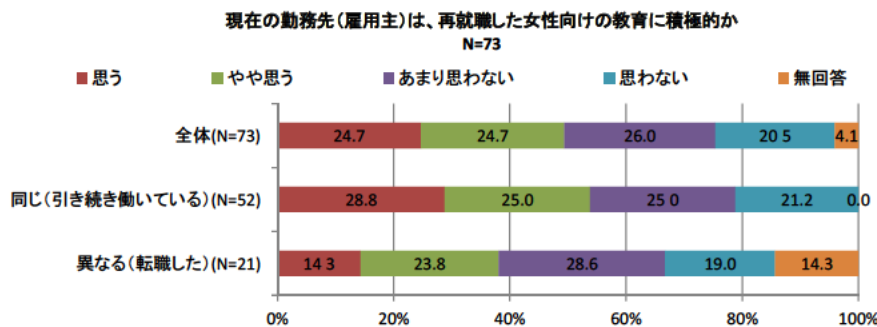
## ⑧勤務先における再就職した女性向けの教育に対する姿勢

### 1) 現在の勤務先は再就職した女性向けの教育（集合研修のほか指導なども含む）に積極的だと思うか

※⑥での無回答を除いて集計

肯定的な回答（「思う」＋「やや思う」）と、否定的な回答（「あまり思わない」＋「思わない」）がほぼ同じ割合となっている。

県の事業を利用して最初に再就職した勤務先に引き続き働いている人の方が、肯定的な回答の割合が高くなっている。



### 2) 積極的かどうかの理由 ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

#### i. 肯定的な回答の理由

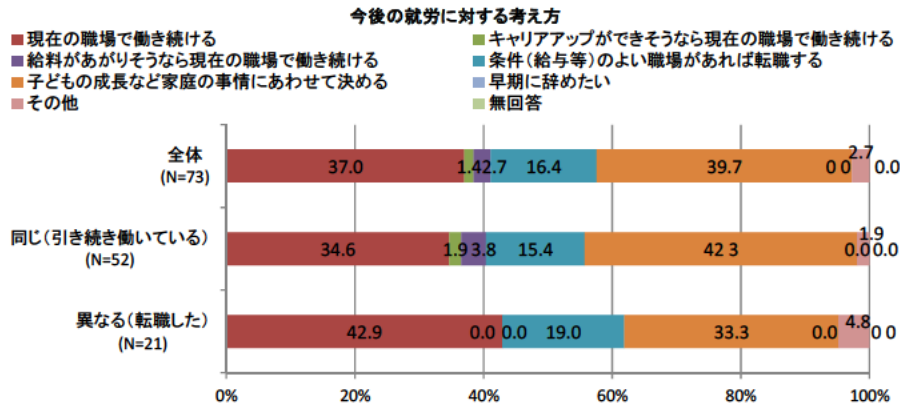
- ・勉強や資格取得の機会をもらえ、いろいろなことに挑戦できる雰囲気がある。パソコンの使い方についてもパソコンスキルの高い方に指導してもらえる。
- ・女性向けの人権研修を実施している。
- ・資格取得のために費用を援助してくれた。
- ・研修期間が長く、教育係をつけてもらえる。
- ・研修への参加など、ブランクがあることを理解したうえで、気長に指導してもらえる。
- ・上司が親身になって相談にのって技術指導をしてもらえる。
- ・パートでも研修や学ぶチャンスが多くある。
- ・主婦の働き方に大変理解を頂いている。
- ・人事の担当者が女性のため、女性の気持ちを理解してもらえる。

#### ii. 否定的な回答の理由

- ・子育て中の女性の勤務時間については融通してもらえるが、研修などはない。
- ・少人数の職場なので、個人の仕事量が多く、研修へ行く時間が確保できない。
- ・男性も含め、研修や指導がほとんどない。
- ・自分で見て覚え、先輩に尋ねて仕事を覚えていくだけで、教育などはあまりない。

### ⑨今後の就労に対する考え方

「子どもの成長など家庭の事情にあわせて決める」(39.7%)が最も高く、次いで「現在の職場で働き続ける」(37.0%)が続く。県の事業を利用して最初に再就職した勤務先に引き続き働いている人の方が、「子どもの成長など家庭の事情にあわせて決める」の割合が高くなっている。

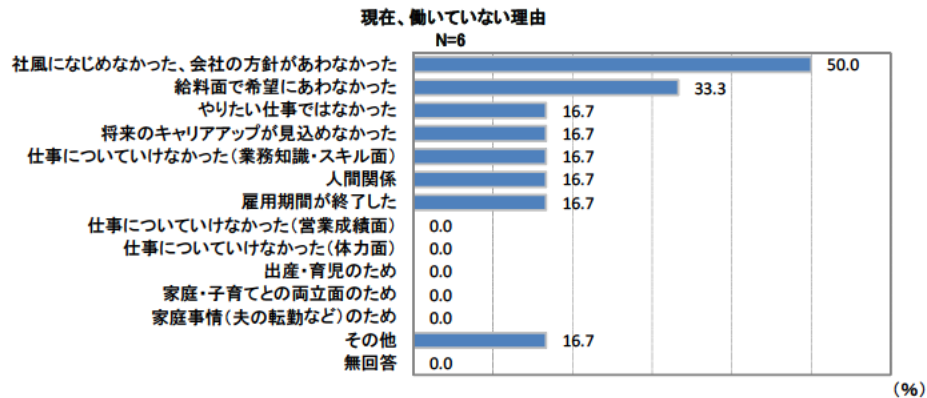


### 3-4. 働いていない人の働いていない理由・就労に対する考え

※県の事業を利用した後、再就職をしたが、現在は働いていない方のみ尋ねた結果

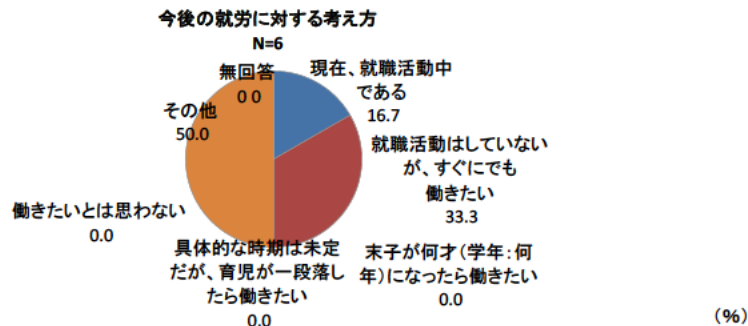
#### ①働いていない理由 ※複数回答

「社風になじめなかった、会社の方針があわなかった」(50.0%)が最も高く、半数が回答している。



#### ②今後の就労に対する考え方

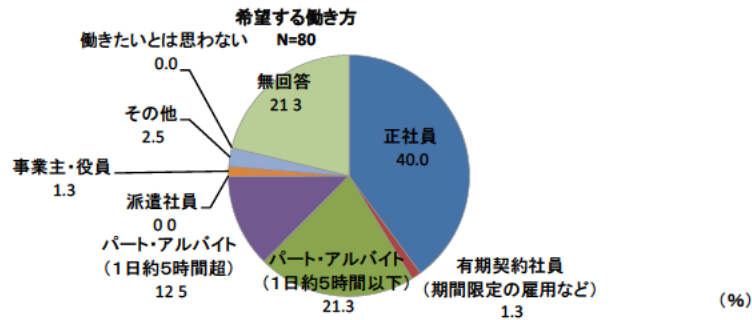
「現在、就職活動中である」(16.7%)を含め、すぐにでも働く意向がある回答が半数を占めている。「その他」でも、就職が決まっているという回答を含め、すべて働く意向がある回答となっている。



### 3-5. 希望する働き方

「正社員」(40.0%)が最も高くなっている。「働きたいとは思わない」との回答はみられなかった。

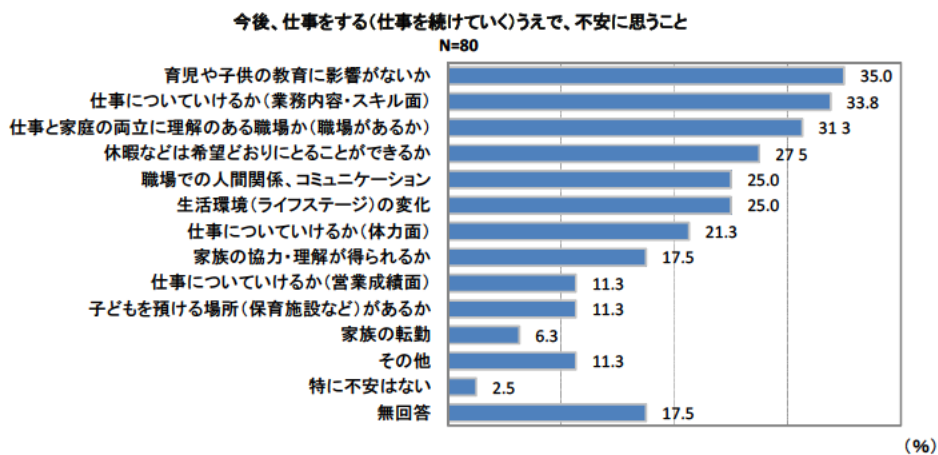
3-3①でみた、現在、働いている方の雇用形態と比べると、「正社員」の割合が高くなっており、正社員として働きたいものの、実際は異なっていることがわかる。



### 3-6. 今後、仕事をする(仕事を続けていく)うえで、不安に思うこと ※複数回答

「育児や子供の教育に影響がないか」(35.0%)が最も高く、「仕事についていけるか(業務内容・スキル面)」(33.8%)、「仕事と家庭の両立に理解のある職場か(職場があるか)」(31.3%)が続く。

「その他」では、通勤時間(異動によるものを含む)に関する意見が複数みられた。





## 4. 過去の仕事との比較について

※県の事業を利用した後、再就職をした人へのみ尋ねた結果

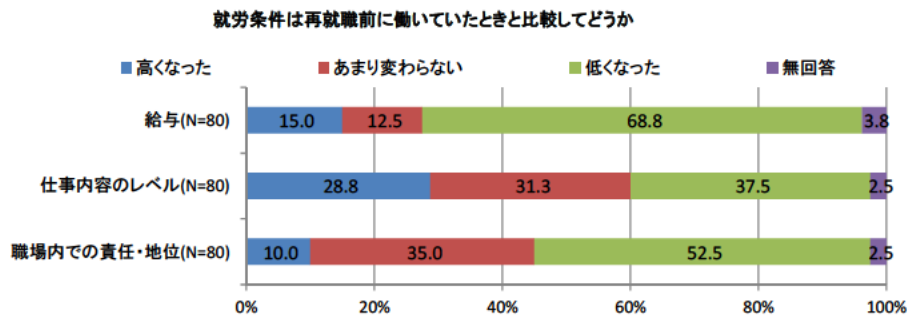
### 4-1. 現在の就労条件

#### ①再就職前に働いていた条件との比較

※現在、働いていない方は直前に働いていた時の条件について尋ねた結果

i 給与（月あたりの収入）、ii 仕事内容のレベル（仕事のむずかしさなど）、iii 職場内での責任・地位（権限・役職など）のそれぞれについて、再就職前に働いていたときの条件と比較してどうかを尋ねた結果では、全てにおいて「低くなった」が最も高くなっている。

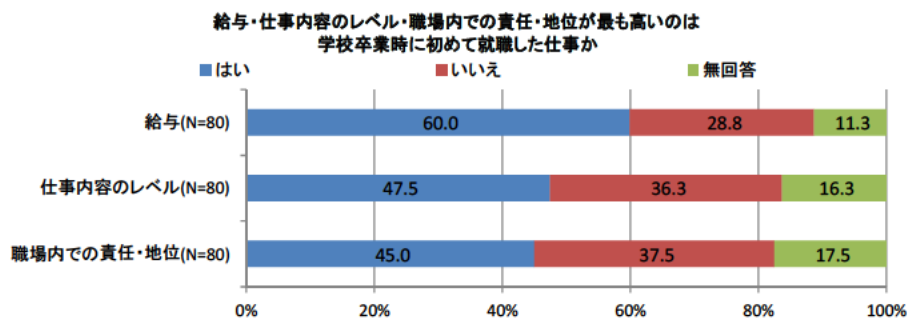
特に、i 給与では「低くなった」（68.8%）が他より高くなっている。また、iii 職場内での責任・地位では「高くなった」（10.0%）が1割と低くなっている。



#### ②学校卒業時に初めて就職した仕事との比較

i 給与（月あたりの収入）、ii 仕事内容のレベル（仕事のむずかしさなど）、iii 職場内での責任・地位（権限・役職など）のそれぞれについて、最も高いときは学校卒業時に初めて就職した仕事が該当するかを尋ねた結果では、全てにおいて「はい」が最も高くなっている。

特に、i 給与で「はい」（60.0%）が高くなっている。

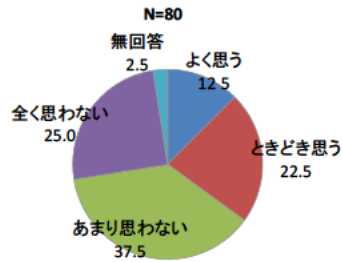


#### ③過去の仕事についての考え

##### 1) 辞めなければよかったと思うことがあるか

「思わない」 + 「全くあまり思わない」が約6割（62.5%）となっているが、辞めたことを後悔する回答（「よく思う」 + 「ときどき思う」）も約3割（35.0%）みられる。

過去の仕事について、辞めなければよかったと思うことがあるか



(96)

## 2) その理由 ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

### i. 辞めたことを後悔する理由

- ・正社員として働き続けていたら生涯所得が違っただろうと思うから。
- ・新卒時に就職した仕事と、再就職での仕事では就労条件が違うから。
- ・以前に働いていた職場では正社員でボーナスなどもあるうえ、収入が安定していた。福利厚生もしっかりしており、安心して働くことができた。
- ・自分が望む職種であった。また、正社員だったので様々な面で待遇が良く、スキルアップやキャリアパスについても希望が持てた。
- ・辞めなければ確実にキャリアアップを図ることができ、収入は高くなったと思う。ただ、家事との両立は難しかったと思う。
- ・前職の方が、やりがいがあって、スキルアップ、キャリアアップに積極的に取り組むことができた。残業があることや仕事内容から、育児や家事を中心に考えることが難しかったため、辞めてしまった。
- ・再就職で正社員を希望したとしても、現在の家庭環境から考えてなれるかどうかわからないため。
- ・歳を重ねると再就職することの難しさや、過去の仕事が福利厚生面で恵まれていたことを実感する。
- ・仕事について落ち着いて考えてから辞めてもよかったと思う。
- ・育児休業から復帰したのちに昇進もしたのだが、仕事と子育ての両立ができずに辞めた。保育園とベビーシッターの力は借りていたが、孤独を感じていた。

### ii. 辞めたことを後悔していない理由

- ・子供が小さい時は育児に専念したかったから。
- ・子育てを一番に優先していたから。
- ・もともと子供ができたなら仕事を辞めると考えていたから。
- ・その時々自身のライフスタイル（出産、子育てなど）に応じて仕事をしてきたから。
- ・自分が仕事に求めるものがはっきり決まっており、退職してもそれに向かってスキルアップをしてきたため。
- ・以前の勤務先では子供が病気でも休暇が取りにくかった。今の勤務先は子育てに理解があって、融通が効くから。
- ・若いうちに自分のキャリアや会社の福利厚生についてもっと考えておけば良かったと思うことはあるが、今の働き方も気に入っているため結果的には良かった。

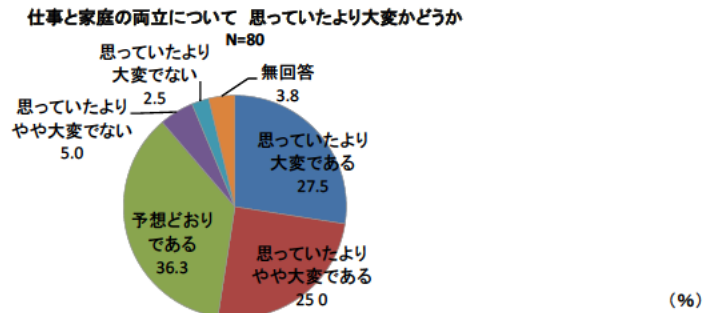
## 5. 仕事と家庭の両立について

※県の事業を利用した後、再就職をした人へのみ尋ねた結果

### 5-1. 再就職しての実感

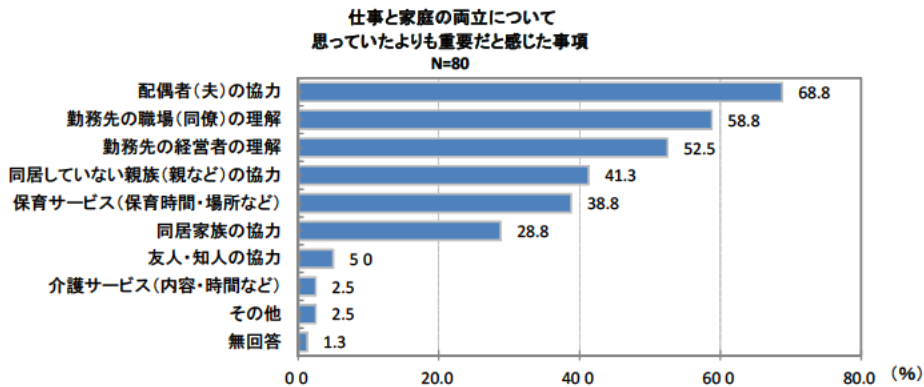
#### ① 思っていたより大変かどうか

仕事と家庭の両立（家事・子育て・家族の介護などとの両立）について、再就職しての実感を尋ねた結果では、「予想どおりである」（36.3%）が最も高くなっているが、予想していたよりも大変との回答（「思っていたより大変である」＋「思っていたよりやや大変である」）が約半数（52.5%）を占めている。



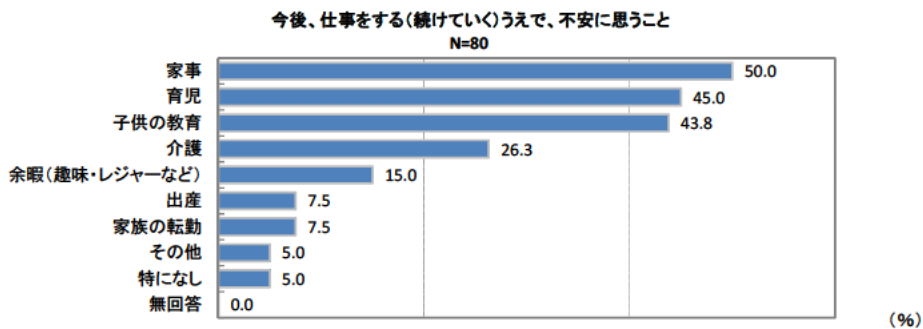
#### ② 思っていたよりも重要だと感じた事項 ※複数回答

「配偶者（夫）の協力」（68.8%）が約7割と最も高く、「勤務先の職場（同僚）の理解」（58.8%）と「勤務先の経営者の理解」（52.5%）も5割を超え、勤務先に関する事項が2位、3位となっている。



#### 5-2. 今後、仕事をする（続けていく）うえで、不安に思うこと ※複数回答

家庭との両立について不安に思う項目を尋ねた結果では、「家事」（50.0%）が5割で最も高く、「育児」（45.0%）、「子供の教育」（43.8%）、「介護」（26.3%）が続く。

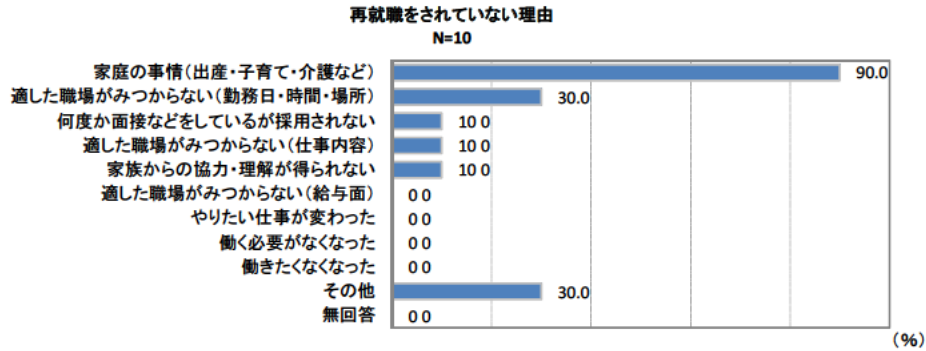


## 6. 県の事業を利用した後、再就職をされていない方の意識について

※県の事業を利用した後、再就職をしていない人へのみ尋ねた結果

### 6—1. 再就職をされていない理由 ※複数回答

「家族の事情（出産・子育て・介護など）」（90.0%）が突出して高く、就職活動よりも家庭との両立が再就職できていない主な理由となっている。

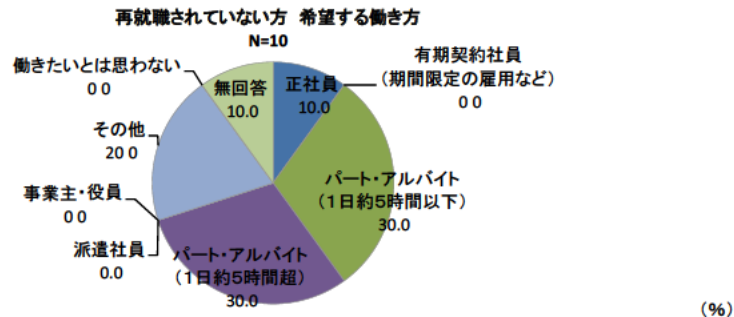


### 6—2. 希望する働き方

「パート・アルバイト（1日約5時間以下）」（30.0%）、「パート・アルバイト（1日約5時間超）」（30.0%）がともに最も高くなっている

「その他」では、自分のやりたい仕事ならどのような働き方でも良いとの回答がみられた。

また、3—5でみた、再就職をされた方への同じ設問の回答結果と比べて、「正社員」の割合が低くなっている。

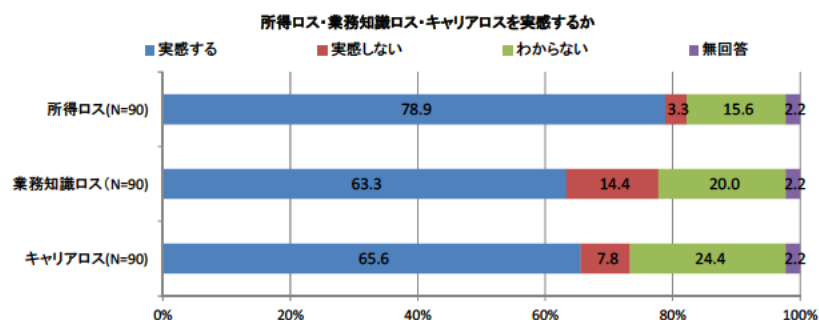


## 7. 女性の再就職に関する意識について

### 7-1. 所得ロス・業務知識ロス・キャリアロスについて

#### ①実感することがあるか

我が国では、出産・子育てなどでいったん仕事を離れた女性が再就職や復帰しにくい背景に、“所得ロス（収入が少なくなる）”、“業務知識ロス（知識・スキル面で仕事についていけなくなる）”、“キャリアロス（責任のある仕事につけなくなる）”といった「3つのロス」があるといわれていることについて尋ねた結果では、いずれも「実感する」の割合が最も高くなっている。特に、“所得ロス”で高くなっている。



#### ②特に感じるところ ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

##### 1) 所得ロスに関する意見

- ・正社員になかなかならず、パートや契約社員にしか採用されない。
- ・保育所からの呼び出しに対応するため、正社員をあきらめた。
- ・子育て中は、子供の送り迎えなどで働くことができる時間が少ないため、収入が少なくなる。また、働く時間を増やしてもそれほど収入が増えず、税金の支払いが増えることになる。
- ・子供の病気などで会社を休むことが多く、収入が少なくなる。

##### 2) 業務知識ロスに関する意見

- ・いったん仕事を離れると様々な面で環境が変化している。
- ・仕事内容がわからなくなる。レベルが高くなっており、ついていけなくなる。能力的に不安になる。
- ・仕事を離れるとスキルを元に戻すのに時間がかかる。
- ・事務職では数年ブランクがあると、作業内容やパソコンの操作が変化しているので、努力をしないと仕事内容が限定されてしまう。
- ・パソコンスキルは特に感じる。子育て中にはパソコンに接しなかったため。
- ・介護の仕事では、法律が変わっており困った経験がある。
- ・復帰したいと思うのであれば、仕事をしていないときも勉強やスキルアップを続けておくことが大切だと思う。
- ・業務知識ロスが原因で所得ロスやキャリアロスになることもあると思う。業務知識ロスに対するサポートがあればよいと思う。所得ロスはある程度はしかたがないと思う。

##### 3) キャリアロスに関する意見

- ・責任のある地位に就くと家庭がまわらなくなるため、自ら責任ある仕事を断っている。
- ・実際に育児休業から復帰したときに、役職を外されたことがある。子育て中は、出産前の責任ある仕事をそのまま続けるのは非常に困難。世の中にそのような風潮がある。

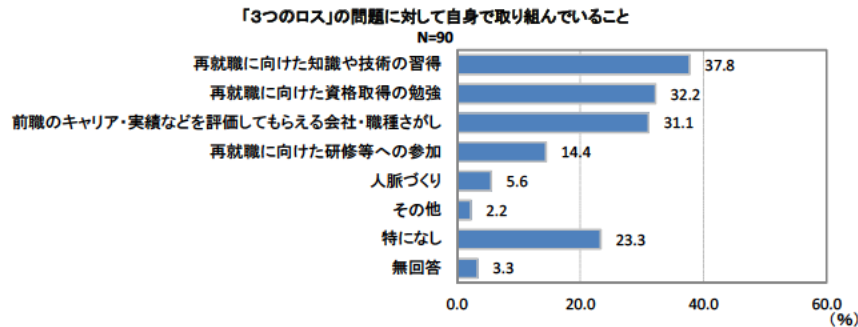
- ・前職では育児休業後に復帰したが、短時間勤務となると、どうしても業務に支障がでたり、最後まで仕事を任せられないことがあったりして、職場での評価が下がってしまった。

#### 4) その他の意見（全てに関する意見など）

- ・子供がいたり、年齢が高くなったり、ブランクが長くなると正社員になることが難しくなる。
- ・ブランクがあると全てにおいて変化がありすぎる。

### 7-2. 「3つのロス」の問題に対して自身に取り組んでいること ※複数回答

「再就職に向けた知識や技術の習得」(37.8%)、「再就職に向けた資格取得の勉強」(32.2%)、「前職のキャリア・実績などを評価してもらえる会社・職種さがし」(31.1%)が3割超となっている。一方で、「特になし」(23.3%)が2割超となっている。

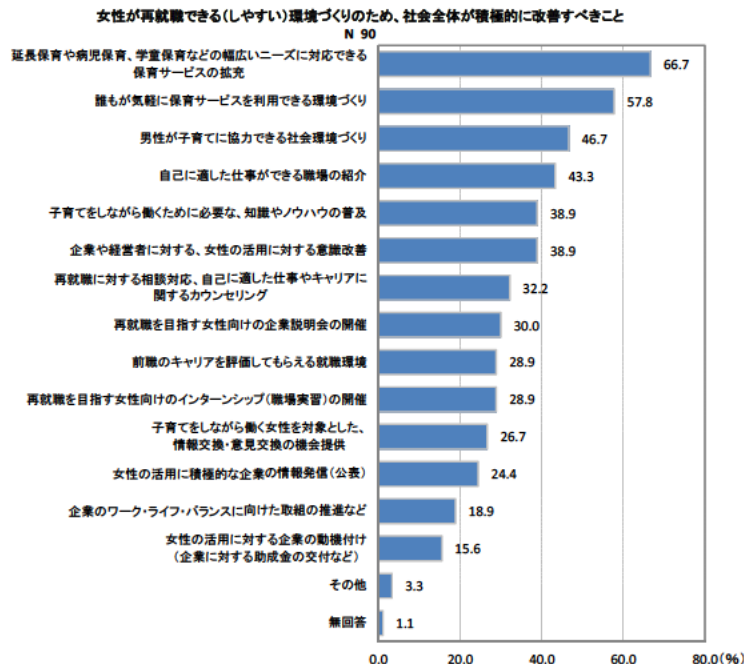


## 8. 労働条件・行政の支援策等について

### 8-1. 女性が再就職できる（しやすい）環境づくりのため、社会全体が積極的に改善すべきこと ※複数回答

女性が再就職できる（しやすい）環境づくりのため、企業や行政機関など社会全体が積極的に改善すべき項目（力を入れるべきこと）について尋ねた結果では、保育サービスに関する回答が1位、2位となっている。次いで、「男性が子育てに協力できる社会環境づくり」(46.7%)、「自己に適した仕事ができる職場の紹介」(43.3%)が続く。

「その他」では、再就職後の女性の悩みを聴いて支援してくれる制度や、中高年の女性が就職しやすい環境の整備に関する回答がみられた。



## 8-2. その他の自由意見 ※自由記述で回答を求めた結果から主なものを抜粋

- ・女性が再就職しやすい環境づくりには、なによりも育児・保育サービスの充実が重要だと思う。地域によっては保育園や学童保育の空きがないことをよく耳にする。
- ・子供を保育園に入園させて働く予定だったが、空きがなくて就職先から内定がでていないのに、辞退しないといけないことがあった。
- ・働きたくても、公的な保育園は入所が困難で、ほかの保育サービスは質にバラツキがあるため、両親が近くに住んでいないと、子供を預けて働くことは困難だと感じる。保育所の不足状況は市町村によって差があるので、待機児童数をわかりやすく公表すべきである。また、潜在的な待機児童を把握して、対策を講じるべきである。
- ・保育料が高いことで、働きたくても働けない人が多いと感じる。保育料の助成制度が必要である。また、仕事で不安をかかえている人のカウンセリングや、情報交換の場も必要である。
- ・保育園によっては、預けられる時間や条件がとても厳しい。また、土曜保育は書類の提出が多いので利用しにくい。
- ・働きはじめると色々な問題に直面する。なかでも一番困るのは病児保育サービスが不足していることである。前日から予約を入れてもキャンセル待ちであることが多い。
- ・病時保育サービスの充実を図ってほしい。小さい子供が急に体調を崩したときに周りに迷惑をかけるのではないかと思うとなかなか働きたくても働けない。
- ・男性が育児休業や子供の世話をする目的で有給休暇を取得しやすい職場が増えて欲しい。女性だけが子供の世話や家事などのために仕事を犠牲にしている気がする。
- ・家庭において女性の責任が大きすぎる。家事、子供の教育、地域活動などにおいて、男性の意識改革が必要である。
- ・男性の意識改革や労働環境（勤務形態を含む）の改善が必要である。
- ・「女性が仕事と育児を両立できる制度」ではなく、「男性が育児に参加しやすい制度」を充実させてほしい。男性が女性をサポートするようになれば自然と女性は働きやすくなる。男性がサポートせずに女性だけが努力するのでは女性が苦しくなるだけである。
- ・行政には、企業の女性活用の考え方が変わるように積極的に指導してほしい。
- ・職場の同僚が子育てをしていない人ばかりだと、上司や人事担当者が仕事と子育ての両立を理解していたとしても、同僚からは理解が得られずに、定時で退社しにくかったり、有給休暇が取得しにくかったりする。
- ・就職活動をしていたとき、子供がいるというだけで取り合ってもらえなかった。
- ・就職活動の段階でも、仕事探しに十分な時間が避けないため、親など育児に協力してもらえないと再就職は困難である。保育所は仕事が決まってからでないと申込みないが、それでは必ず入所できるかわからずあてにならない。入所できたら働くといった条件では、企業から採用されにくい。
- ・子供が小さいうちは家にいてあげないと子供がかわいそうなどといった社会的な風潮がある。母親としてはそのようなことを言われるとストレスになってしまう。
- ・再就職よりも元々のキャリアを続けられるようにすることを重視すべき。日本は、会社に妊娠したことを報告すると、「仕事を続けるのか」と質問される。だが、子育てしながらの仕事は、実際にしてみないとわからないことが多いので、そのタイミングではなかなか決められない。職場を離れても、しばらくは復職できるように席を空けておく制度が必要である。

### 3. 資料編

## アンケート調査票

### 「再就職活動をされた女性の意識と就労状況に関するアンケート調査」 ご協力をお願い ～ 皆様の経験やご意見を女性の就労支援に活用します ～

皆様には、日頃から三重県の雇用対策行政にご理解とご協力を頂き、お礼申し上げます。  
女性の社会進出が進んでいます。依然として、いったん退職すると同じ条件での再就職が難しい環  
境です。また、結婚・出産・子育て等のライフステージにあわせたキャリアアップ・スキルアップを希  
望する女性が多一方で、「将来に向けて何をしたらよいか分からない」などとお悩みの女性も多か  
が実情です。

県では、これまでに女性の再就職に向けた就労支援事業を実施してきました。このたび、これらの事業  
の見直しも含めて、女性の再就職に関する課題を把握し、それに対応した就労支援施策を行っていく  
にあたり、皆様の貴重なご意見を伺わせて頂きたいと考えております。

そこで、これまで県の女性の再就職に関する意識調査事業「再就職相談・アンケート調査」を二  
回利用いただいた方には、事業に対するご意見や現在の就労状況、仕事と家庭の両立に関するお悩み  
行政に対するご意見などを把握するため、本調査を実施することとなりました。ご利用になった「**具体的な**  
**な事業名は**」にご記載していただきます。

ご回答いただいた内容は、県の雇用対策の基礎資料として活かしてまいります。また、統計的な集計・  
分析にのみ使用し、個人が特定されることはございません。なお、アンケート結果は皆様にもご覧いた  
だけるよう、三重県のホームページで公開を予定しております。

ご回答は、直接、調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れてお送りください。**平成27年9**  
**月7日(月)まで**に、**必ず**上記ご返信用封筒に入力してください。**(必ず封筒を返してください)**  
お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上  
げます。

なお、本調査は、株式会社百五経済研究所に委託して実施しております。

平成27年8月

【ご記入にあたってのお願い】

- 再就職をされたかどうか、現在、就労されているかどうかに関わらず、ご回答ください。
- 回答は、あてはまる選択の番号を○で囲んでください。選択する○の数は、設問ごとに(○は1つだけ)、(あてはまるものいくつでも○)など指定されていますので、ご注意ください。
- 「その他」を選択した場合や、具体的な数字・内容を記入する設問の場合は、お手数ですが、( )等に具体的な内容をご記入ください。
- ご自身の状況によってご回答いただく設問が異なります。「問〇へ」等の指示がある場合は、その指示に沿ってお読みください。

【調査実施機関】※回答方法についての問い合わせ先  
株式会社 百五経済研究所  
経営コンサルティング部 担当：安岡・川北  
〒514-0801 津市船場町津原1865番地7  
TEL:059-224-2510 FAX:059-224-2455

三重県 雇用経済部  
株式会社 百五経済研究所  
〒514-0801 津市船場町津原1865番地7  
TEL:059-224-2510 FAX:059-224-2455

### 「再就職活動をされた女性の意識と就労状況に関するアンケート調査」 調査票

Ⅰ. あなた自身についての設問

問Ⅰ-1. あなたご自身について、お尋ねします。

年齢	歳	居住地 (市町村名)
最終学歴 (○は1つ)	1. 中学校卒業 2. 高等学校卒業 3. 短大・専門学校卒業 4. 大学・大学院卒業 5. その他 ( )	
過去に勤めた 勤務先の数	先 (数字をご記入ください) *例：学校卒業後初めて勤続した会社を連ねて1回所属職・転職すれば → 2先と記入	
過去に 最も長く 勤めていた 就労期間	年 ヶ月 (数字をご記入ください。おおよそで結構です)	

問Ⅰ-2. あなたのご家族について、お尋ねします。  
①現在、あなたと同層の家業(あてはまるものすべてに○、単身赴任中は「別居」とお考えください)  
をお答えください。

1. 子	2. 配偶者(夫)	3. 親(義父母含む)	4. 祖父母	5. 兄弟姉妹
6. その他 ( )				

②お子様がいらっしゃる方は、何人ですか。また、お子様の学年等(未婚の方は年齢)をご記入下さい。

人	(記入欄)	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
社会人、小3、年中、3歳以下						



問Ⅱ-2. 【全ての方がお答えください】

再就職したいと思った理由をお答えください（あてはまるものいくつでも○）。

1. 経済的なゆとりのため
2. 経済的に必要だから
3. 生がよい・自己実現
4. 社会とのつながり、交流のため
5. 世の中の役に立ちたいから
6. 趣味に良いから
7. キャリア・スキルアップのため
8. 何もしないと道徳だから
9. 将来の起業等のため
10. 友人・知人が働いているから
11. 世間の目があがるから
12. 親の目があがるから
13. 他に理由は無い
14. その他（ ）

問Ⅱ-3. 【全ての方がお答えください】

実際に再就職をされましたか（○は1つだけ）。\*現在、継続して就労しているかは問いません。

1. 再就職した（利用した事業の年度中（3月まで））
2. 再就職した（次の年度以降）
3. 一度も就職していない

A ( P5→P10 ) をご回答ください

B ( P11→P12 ) をご回答ください

問Ⅱ-3の回答内容に応じて、  
A・Bのいずれかを ご回答ください。

Ⅱ. ご利用になった三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」についての説明

＜説明＞

あなたも、ご利用になった三重県の「女性の再就職に関する就労支援事業」は、以下の○印のものです。該当する事業に対するご意見をお答えください。

（ご利用になった就労支援事業）

1	再就職に向けた相談窓口（キャリアカウンセラーによるカウンセリング・就労に向けた情報提供など） [平成24年度・平成25年度・平成26年度]
2	再就職に向けた研修と企業でのインターンシップ（スキルアップのための研修と企業での就業体験） [平成25年度]
3	女性の就職に向けた相談対応と企業へのマッチング（相談対応、および求職サイト・セミナー・個別イベントによる各種マッチング等）[平成26年度]

問Ⅱ-1. その事業の評価をお答えください。

①お役に立ちましたか（○は1つだけ）。

1. ほとんど役に立たなかった
2. 役に立たなかった
3. あまり役に立たなかった
4. 全く役に立たなかった

②【①で「1. おおいに役に立たなかった」「2. 役に立たなかった」と回答された方にお尋ねします】 \*それ以外の方は3へその理由をお答えください（あてはまるものいくつでも○）。

1. 自己の個性が把握できた
2. 自己の働き方に対する考えが整理できた
3. 将来のキャリアアップ・スキルアップに対するビジョンが描けるようになった
4. 再就職に対する不安がやわらいだ（自信や勇気が出た）
5. 悩みを聞いてもらえて心が研がれた
6. 仕事と家庭の両立のコツを覚えてもらった
7. 有益な情報（企業情報など）が得られた
8. 希望する職種や業種が明確になった
9. 再就職の意義が理解できた
10. 就職活動（面接など）で役に立った
11. 実際に就職できた
12. その他（ ）

③【全ての方がお答えください】

①で「3. あまり役に立たなかった」「4. 全く役に立たなかった」と回答された方はその理由まで記入ください。その他、事業に対するご意見がありましたらご記入ください（自由記述）。

⑥現在の勤務先（雇用主）は、県の事業を利用して最初に再就職した勤務先（雇用主）と同じですか（○は1つだけ）。

1. 同じ（引き続き働いている）	2. 異なる（転職した）
------------------	--------------

⑦【⑥で「2.異なる」と回答した方にご尋ねします】 \*まれ以外の方は⑧へ  
その理由をお答えください（あてはまるものいくつでも○）。

1. ほかにやりたい仕事内容が見つかった	2. ほかによい条件（給料等）の仕事が見つかった
3. 再就職した勤務先が自分にはあわなかった（社風、会社の方針が合わなかった）	4. 出張、育児のため
5. 家庭・子育てとの両立のため転職	6. 家庭・子育てとの両立のため転職
7. 会社の勤務条件が変わった（転勤、職種変更等含む）	8. その他（ ）

⑧現在、以下のi)～iv)は、県の事業を利用して最初に再就職したときと概ね同じですか（○は1つずつ）。異なる場合、その理由・きっかけを簡単に記入してください（自由記述）。

	現在の事業で再就職したときと同じか（○は1つずつ）	【異なる場合】その理由・きっかけ（自由記述）
i) 雇用形態 (正社員、パート・アルバイトなど)	1. 同じ 2. 異なる	*別冊 雇用に依りて雇用がアップした、家庭事情により再就職して変更してもらった。
ii) 職種 (事務職、営業職など)	1. 同じ 2. 異なる	
iii) 勤務日	1. 同じ 2. 異なる	
iv) 勤務時間	1. 同じ 2. 異なる	

⑨現在の勤務先（雇用主）は、再就職した女性向けの教育（集合研修のほか、指導なども含む）に積極的だと思いますか（○は1つだけ）。

1. 思う	2. やや思う	3. あまり思わない	4. 思わない
-------	---------	------------	---------

その理由を具体的に記入ください（自由記述）。

⑩今後の勤務先に対する考えをお答えください（○は1つだけ）。

1. 現在の職場で働き続ける
2. キャリアアップができればそうなら現在の職場で働き続ける
3. 給料が上がりそうなら現在の職場で働き続ける
4. 条件（給付等）のよい職場があれば転職をする
5. 子どもの成長など家族の事情にあわせて決める
6. 早期に辞めたい
7. その他（ ）

## A. 県の事業をご利用になった後、再就職をされた方にお尋ねします。

### Ⅲ. 就労状況についての説明

問Ⅲ-1. 県の事業を利用して最初に再就職した際の前職からのブランクは何年ですか（数字をご記入ください。おおよそで結構です）。

年	ヶ月
---	----

問Ⅲ-2. 現在、働いていますか（○は1つだけ）。

1. 働いている	2. 働いている（ただし、産前産後休暇・育児休業・介護休業取得中）
3. 働いていない	4. その他（ ）

問Ⅲ-3. 【1.働いている】2.働いている（ただし、産前産後休暇・育児休業・介護休業取得中）の方にお尋ねします。 \*まれ以外の方は、問Ⅲ-4へ  
現在のお仕事の内容をお答えください。

①雇用形態をお尋ねします（○は1つだけ）。

1. 正社員	2. 有期契約社員（期間限定の雇用など）
3. パート・アルバイト（1日約5時間以下）	4. ネット・アルバイト（1日約5時間超）
5. 派遣社員	6. 事業主・役員
7. その他（ ）	

②職種（お仕事内容）をお尋ねします（○は1つだけ）。

1. 事務職	2. 接客職	3. 接客・販売員（コンビニ・スーパー等）	4. 生産現場関係
5. 工事現場関係	6. IT関係	7. 専門職（医師・弁護士等）	8. 専門職（法律事務所等）
9. 専門職（設計・デザイナー等）	10. 農林漁業関係	11. その他（ ）	

③月あたりの収入（平均）をお尋ねします（数字をご記入ください。おおよそで結構です）。

\*賞与・残業代などを含んだ月平均（手取りではなく、額面）

1. ヶ月	万円程度
-------	------

④勤務日（○は1つだけ）。

1. 平日のみ	2. 平日は問わないが週5日くらい
3. 平日の2～3日のみ	4. 平日は問わないが週2～3日くらい
5. 土日祝のみ	6. その他（ ）

⑤就労時間（数字をご記入ください。おおよそで結構です）。

時～	時まで	1日あたり	時間	×	1週間あたり	日

その他（ ）

Ⅳ. 過去の就労条件と比較した場合の今の条件についての期間【再就職した全ての方がお答えください】

問Ⅳ-1. 現在の就労条件（現在、働いていない方は直近に働いていた時の条件）は、再就職前にあな  
 たが働いていたときの条件と比較してどうですか。以下の①～③の列にそれぞれ、お答えく  
 ださい（○は1つずつ）。\*複数回答可能な方は、最も高いときと比較してください。

①給与（月あたりの収入）	変化 （○は1つずつ）		最も高いときは、学校卒業時 に初めて就職した仕事ですか	
	1. 高くなった	2. あまり変わらない	1. はい	2. いいえ
②仕事内容のレベル （仕事のむずかしさなど）	1. 高くなった	2. あまり変わらない	1. はい	2. いいえ
③職場内での責任・地位 （権限・役割など）	1. 高くなった	2. あまり変わらない	1. はい	2. いいえ

問Ⅳ-2. 過去の仕事について、辞めなければよかったと思うことがありますか（○は1つだけ）。

1. よく思う	2. ときどき思う	3. あまり思わない	4. 全く思わない
---------	-----------	------------	-----------

その理由を具体的に記入ください（自由記述）。

問Ⅳ-3. 我が国では、出産・子育てなどでいったん仕事を離れた女性が再就職や復帰しにくい背景に、  
 “所得ロス（収入が少なくなる）”、“業務知識ロス（知識・スキル面で仕事についていけな  
 くなる）”、“キャリアロス（責任のある仕事につけなくなる）”といった3つのロスがあると  
 いわれています。このことについてどう考えますか。

	実感するかどうか （1つずつ○）	特に感じるところがあればご記入ください （自由記述）
①所得ロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	
②業務知識ロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	
③キャリアロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	

問Ⅳ-4. 上の「3つのロス」の問題に対して、ご自身が取り組んでいる（いた）ことをお答えくださ  
 い（あてはまるものいくつでも○）。

1. 再就職に向けた知識や技術の習得	2. 再就職に向けた資格取得の勉強
3. 再就職に向けた研修等への参加	4. 人脉づくり
5. 前職のキャリア・実績などを評価してもらえる会社・職種さがし	
6. その他（	）
	7. 情になし

問Ⅲ-4. 【Ⅲ-2で「3. 働いていない」と回答した方にお知らせします】 \*それ以外の方は問Ⅲ-5へ  
 ①働いていない理由をお答えください（あてはまるものいくつでも○）。

1. やりた仕事ではなかった	2. 将来のキャリアアップが見込めなかった
3. 給与面で希望にあわなかった	4. 仕事についていけないかった（業務知識・スキル面）
5. 仕事についていけないかった（営業成績面）	6. 仕事についていけないかった（体方面）
7. 人間関係	8. 社風になじめなかった、会社の方針があわなかった
9. 雇用期間が終了した	10. 出産・育児のため
11. 家庭・子育てとの両立のため	12. 家庭の事情（夫の転勤など）のため
13. その他（	）

②今後の就労に対する考えをお答えください（○は1つだけ）。

1. 現在、就職活動中である	
2. 就職活動はしていないが、すぐにも働きたい	
3. 未子（学生）	）になったら働きたい
4. 具体的な時期は未定だが、育児が一段落したら働きたい	
5. 働きたいとは思わない	→ *問Ⅲ-1へ
6. その他（	）

問Ⅲ-5. 希望する働き方をお答えください（○は1つだけ）。

1. 正社員	2. 有期契約社員（期間限定の雇用など）
3. パート・アルバイト（1日約5時間以下）	4. パート・アルバイト（1日約5時間超）
5. 派遣社員	6. 事業主・役員
7. その他（	）
8. 働きたいとは思わない	→ *問Ⅲ-1へ

問Ⅲ-6. 今後、仕事を（仕事を続けていく）うえで、不安に思うことについてお答えください（あ  
 てはまるものいくつでも○）。

1. 仕事についていけないか（業務知識・スキル面）	2. 仕事についていけないか（営業成績面）
3. 仕事についていけないか（体方面）	1. 職場での人間関係、コミュニケーション
5. 仕事と家庭の両立に理解のある職場か（職場があるか）	8. 家族の協力・理解が得られるか
6. 休暇などは希望どおりにとることができるか	10. 子育て環境（ライフステージ）の変化
7. 子どもを預ける場所（保育園など）があるか	
9. 育児や子供の教育に影響がないか	
11. 家族の転勤	
12. その他（	）
13. 他に不安はない	

問VI-2. その他、女性が再就職しやすい環境づくりについてご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。お手数ですが、回答の封筒に封入の上、**9月7日(月)までに**、**8** 封筒に貼付いただきますようお願いいたします(切手は不要です)。

V. 仕事と家庭の両立についての設問 【再就職した全ての方がお答えください】

問V-1. 仕事と家庭の両立(家事・子育て・家族の介護などの両立)についてお尋ねします。

①再就職して感じることをお答えください(○は1つだけ)。

- ＊現在、働いていない方は直前に働いていた時のことについてお答えください。
1. 思っていたより大変である
  2. 思っていたよりやりやが大変である
  3. 予想どおりである
  4. 思っていたよりやりやが大変でない
  5. 思っていたより大変でない

②再就職して思っていたよりも重要だと感じた事項をお答えください(あてはまるものはいくつでも○)。

1. 配偶者(夫)の協力
2. 同居家族の協力
3. 同居していない親族(親など)の協力
4. 友人・知人の協力
5. 勤務先の経営者の理解
6. 勤務先の職場(同僚)の理解
7. 保育サービス(保育時間・場所など)
8. 介護サービス(内容・時間など)
9. その他( )

問V-2. 今後、仕事をすす(仕事を続けたい)うえで、家庭との両立に關し不安に思ふ項目をお答えください(あてはまるものはいくつでも○)。

1. 家事
2. 出産
3. 育児
4. 介護
5. 余暇(趣味・レジャーなど)
6. 家族の稼働
7. 子供の教育
8. その他( )
9. 皆になし

VI. 労働条件・行政の支援策等についての設問 【再就職した全ての方がお答えください】

問VI-1. 女性が再就職できる(しやすい)環境づくりのため、企業や行政機関など社会全体が積極的に改善すべき項目(力を入れるべきこと)を、以下から選択してください(あてはまるものはいくつでも○)。

1. 子育てしながら働くために必要な、知識やノウハウの普及
2. 子育てしながら働く女性を対象にした、情報交換・意見交換の機会提供
3. 前職のキャリアを評価してもらえらる就職履歴
4. 自己に適した仕事ができる職場の紹介
5. 企業や経営者に対する、女性の活用に対する意識改善
6. 女性の活用に対する企業の動機付け(企業に対する助成金の交付など)
7. 女性の活用に関する積極的な企業者の情報発信(公表)
8. 再就職を目指す女性向けのインテンシブ(職場実習)の開催
9. 再就職を目指す女性向けのインテンシブ(職場実習)の開催
10. 男性が子育てに協力できる社会環境づくり
11. 企業のワーク・ライフ・バランスに向けた取組の推進など
12. 誰もが気軽に保育サービスを利用できる環境づくり
13. 延長保育や預託保育、学童保育などの幅広いニーズに対応できる保育サービスの拡充
14. 再就職に対する相談対応、自己に合った仕事やキャリアに関するカウンセリング
15. その他( )

Ⅲ. 労働条件・行政の支援策等についての説明

問Ⅲ-1. 女性が再就職できる(しやす)環境づくりのため、企業や行政機関など公益主体が積極的に改善すべき項目(力を入れるべきこと)を、以下から選択してください(あてはまるものいくつでも○)。

1. 子育てしながら働くために必要な、知識やノウハウの普及
2. 子育てしながら働く女性を対象にした、情報交換・意見交換の機会提供
3. 前職のキャリアを評価してもらえる環境整備
4. 自己に適した仕事ができる職場の紹介
5. 企業や経営者に対する、女性の活用に対する意識啓発
6. 女性の活用に対する企業の動機付け(企業に対する助成金の交付など)
7. 女性の活用に積極的な企業の情報発信(公表)
8. 再就職を目指す女性向けの企業説明会の開催
9. 再就職を目指す女性向けのインターンシップ(職場実習)の開催
10. 男性が子育てに協力できる社会環境づくり
11. 企業のワーク・ライフ・バランスに向けた取組の推進など
12. 誰もが気軽に保育サービスを利用できる環境づくり
13. 延長保育や育児保者、学童保育などの幅広いニーズに対応できる保育サービスの拡充
14. 再就職に対する相談対応、自己に適した仕事やキャリアに関するカウンセリング
15. その他( )

問Ⅲ-2. その他、女性が再就職しやす環境づくりについてご意見がありましたらご記入ください(自由記述)。

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございます。お手数ですが、同封の封筒に封入の上、**9月7日(月)までに**、ポストに投函いただきますようお願いいたします(戻手は不要です)。

**Ⅲ. 県の事業をご利用になった後、一度も再就職をされない方にお尋ねします。**

Ⅲ. 就労に対する意識についての説明

問Ⅲ-1. 再就職をされない理由をお答えください(あてはまるものいくつでも○)。

1. 何度の面接などを行っているが採用されない
2. 適した職種が見つからない(給与面)
3. 適した職場が見つからない(仕事内容)
4. 適した職場が見つからない(勤務日・時間・場所)
5. 家庭の事情(介護・子育て・介護など)
6. 家族から協力・理解が得られない
7. やりたい仕事が変わった
8. 働く必要がなくなった
9. 働きたくなくなかった
10. その他( )

問Ⅲ-2. 希望する働き方をお答えください(○は1つだけ)。

1. 正社員
2. 有期契約社員(期間限定の雇用など)
3. パート・アルバイト(1日約5時間以下)
4. パート・アルバイト(1日約5時間超)
5. 派遣社員
6. 事業主・役員
7. その他( )
8. 働きたいとは思わない

問Ⅲ-3. 我が国では、出産・子育てなどでいったん仕事を離れた女性が再就職や復帰しにくい背景に、“所得ロス(収入が少なくなる)”、“業務知識ロス(知識・スキル面で仕事についていけない)”、“キャリアロス(責任のある仕事につけなくなる)”といった3つのロスがあるとされています。このことについてどう考えますか。

	実感するかどうか (1つずつ○)	特に感じるところがあればご記入ください (自由記述)
①所得ロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	
②業務知識ロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	
③キャリアロス	1. 実感する 2. 実感しない 3. わからない	

問Ⅲ-4. 上の「3つのロス」の問題に対して、ご自身が取り組んでいる(いた)ことをお答えください(あてはまるものいくつでも○)。

1. 再就職に向けた知識や技術の習得
2. 再就職に向けた資格取得の勉強
3. 再就職に向けた研修等への参加
4. 人脈づくり
5. 前職のキャリア・実績などを評価してもらえらる会社・職種さがし
6. その他( )
7. 特になし